

平成 16 年度

秋季修了

修士学位論文

アバターを活用したウェブビジネスの戦略

A Web Business Strategy with Avatar System

平成 16 年 8 月 30 日

高知工科大学大学院 工学研究科 基盤工学専攻 起業家コース

学籍番号 1065028

金 亨 珍

Kim Hyoung Jin

内容概要

本研究は、筆者のウェブビジネス実務経験をもとにして、高知工科大学在学中に調査した多くの資料とこれに対する筆者の見解を総合的に述べたものである。

本論文は、「アバター」と呼ばれる新しいウェブシステムを、現在のWeb-Businessにおいて、どのように戦略道具化するかに対する研究と、同時に「アバターシステム」を活用したビジネスアイデアと収益モデルに対する提案である。

これによって、現在日本で運営されているアバターシステムでは不可能なアバター共有効果を掲示板レンタルサービスと結合させた新しい形態で提供することができ、まだ日本で活用化されていないアバターの需要を拡大させる効果を期待できる。また付加的に、小規模サイト運営者には簡単に利用できる決済システムを提供すれば、これを使って小規模サイト運営者がサイト運営によって収益を得ることができる基盤を作るといった構築効果もある。

論文は7章で構成されており、各章に対する概要は以下のとおりである。

第1章 序論

「アバター」は、一時的に流行するウェブコンテンツに過ぎないのか、ウェブビジネスにおいて戦略的道具として使うことができる基盤システムなのか、この疑問を研究の背景として、本研究の目的と意義を明らかにする。

第2章 ブロードバンドの出現とウェブビジネスの変化の様子

ブロードバンドと呼ばれる新しいインターネットインフラがインターネット利用者とウェブビジネスをどのように変化させているのかに対する分析を通じて、顧客ニーズの変化とそれに対応する方案を提示する。

第3章 新しいインターネット文化、アバターの登場

アバターはどのようなもので、どのように始まったのか。アバターの登場で何が変わったのか、ネチズンたちはどうしてアバターを利用するのか。アバターの問題点と今後の展望などに関する理論的な分析を通じて、アバターに対する正確な理解について述べる。

第4章 アバターサービス具現化に対する技術的な考察

アバターシステムを活用するための技術的アルゴリズムと構築に必要な各要素、効果的な構築と、技術的発展によるアバターシステムの変化の様子に関する研究を通じて、効果的なアバターシステムの構築に必要なアドバイスを述べる。

第5章 アバターを活用したウェブビジネス戦略

アバターはどのような経緯でウェブビジネスの戦略的道具になったのか、アバターの収益性と今後の経済的価値は何か、アバターサービスが持つ独特のメカニズムと、ウェブビジネスの戦略的道具として、アバターシステムの具体的な活用方を提示する。

第6章 アバター共用システムを利用した新しい収益モデル提案

今までの研究を基に、現在日本のウェブビジネス状況下で、一番効果的と考えられるアバターシステムを活用した Web-Business モデルを提示する。

第7章 結論

2章から6章までの研究成果を総合し、各章で論議することができなかった他の問題点を推論し、最終結論を提示する。